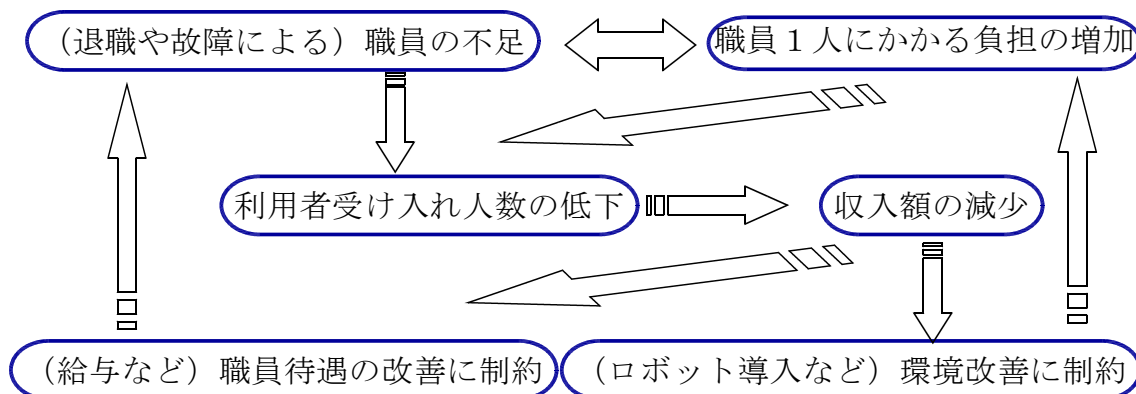


# 令和5年度 事業報告の概括

## 1 法人全体の概括

以下のような構図が顕著に見られ、厳しい運営状況となった1年間でした。



要因が複雑に入り組みすぎて、どこから改善すべきか全く見当もつかず、抜本的な対策が図れませんでした。一部の事業においては、収入増など明るい兆しはありましたが、全体的には負のスパイラルからなかなか脱することができませんでした。年度末になって、ようやく職員の補充や利用率の微増が進みました。

## 2 各事業所の概括

### ①法人事務局

一部共同購入を実現した他は、芳しい成果はありませんでした。食材費の高騰が進み、食費単価250円の目標も達成できませんでした。

### ②養護老人ホーム妻有荘

措置事業については、インフルエンザやコロナウイルスのクラスター感染が発生し、活動が大きく制約されました。ショートステイについては、措置事業での感染状況もあり利用が大きく落ち込みました。

### ③老人デイサービスセンターつまりの里（通所）

コロナウイルス感染や職員不足等により、利用実績が大きく落ち込みました。職員体制の維持に追われ、なかなか改善が図れませんでした。

### ④老人デイサービスセンターつまりの里（訪問）

年度途中で常勤職員が退職するなど、全体的な訪問派遣可能時間が制約され、前年度より実績が下がりました。

### ⑤老人介護支援センターつまりの里

新規の利用者数が伸び、介護支援専門員1人当たり担当件数35件、という目標を達成することができました。

### ⑥十日町南地域包括支援センター

相談件数は前年度より若干減りましたが、地域での活動を活発にすることで、地域住民の参加が増えました。

⑦老人福祉センター平成園

指定管理事業については、前年と同様スポーツ系の活動が好調でした。生きがいデイサービスについては、半日単位の活動となり、前年より微増という結果となりました。

⑧障がい福祉サービス事業所エンゼル妻有

就労系については利用者は増えましたが、加算の関係で収入は前年比減となりました。生活訓練系については、利用者数が前年と変わらず、収入は落ち込みました。グループホーム系は入所が伸び悩みました。

⑨障がい者地域生活支援センターエンゼル妻有

相談支援については、前年同様部署内の役割分担、情報共有に努め、計画作成収入が大幅に伸びました。地域活動支援については、コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受けて、活動を徐々に増やしていきました。

⑩十日町市身体障がい者福祉センター

指定管理事業については、地域の団体からの利用が増えました。地域活動支援センターにおいては、登録利用者数は変わらないものの、利用が不安定な利用者の割合が増え、利用実績が落ち込みました。

⑪デイサービスセンターアップルつまり

登録利用者数は増えましたが、介護軽度の利用が増える一方で、利用回数の多い重度の利用者が徐々に減っており、利用延べ実績が大きく落ち込みました。

⑫高齢者専用アパートエスポワールさいわい

新型コロナウイルス感染症による制約の中、できる限りの入居者交流や防災対策を行いました。